

Part1 : 2011年受賞者展

2012. 7.23 (月) - 7. 28 (土)

Open 11:30-19:00 (最終日17:00) 入場無料

告畑 綾 個展(2011年大賞展) / ASK? (2F)

毎年、ASK?映像祭では、前年度のコンペティションの大賞受賞者に個展の場を設けており、今年は2011年度に大賞を受賞した告畑 綾の個展を開催します。この個展では、新作の人形アニメーションを含む作品上映を行い、セットの展示を行います。

ASK? 映像祭 2011 大賞作品



「今村商店」 2011年 5分16秒

日本のとある村で、六十年間、商店を営むおばあさんがいる。彼女はこの今村商店に嫁ぎ、女手一つで店を守りながら、今日という日々を生きてきた。

新作



「櫻本箒製作所」 2012年 9分

日本のとある村に住む老夫婦。ふたりの仕事は箒(ほうき)を作ることだ。長年連れ添って仕事をしてきた二人だが、少し前から妻には病気の症状が出始め、作業に支障を来していることに夫は気付く。

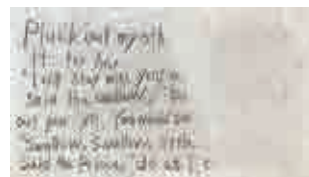
2011年受賞作家展 / ASK? (P) (B1F)

ASK?映像祭では、前年度の大賞受賞者の個展とともに、前年度の久里洋二賞、西村智弘賞、ASK?賞の受賞者によるグループ展を開催します。前年度の受賞作品や新作を上映するとともに、原画や立体素材などの展示を行います。



久里洋二賞
「Ho-Ho this massage is boiling hot」
岡本 将徳 2011年 2分18秒

気持ちに合わせて踊ったり身体の形を変化させたり、切り抜いた紙の置き換えによるコマ撮りアニメーション。



西村智弘賞
「Scripta volant」
折笠 良 2011年 10分

「Scripta」は「書かれたもの」、「volant」は「飛び去る」の意。O・ワイルドの『幸福な王子』を翻訳。書物としての映画。



ASK?賞
「SANKAKU」
若井 麻奈美 2010年 4分45秒

さんかくは自分が正解なのか不正解なのかわからないまま、日々を淡々と過ごしていました。



「今村商店」告畑 綾

ASK? FILM FESTIVAL 2012 Vol.08 ASK?映像祭2012

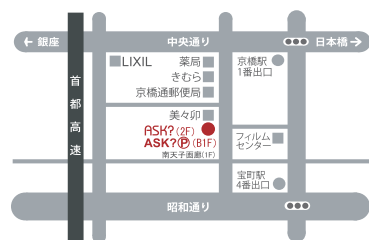
Part1 : 7.23 (月) - 7.28 (土) 2011年受賞者展

Part2 : 7.31 (火) - 8.4 (土) プログラム上映 + デジタルフォトフレーム展

映像アートの萌芽

「ASK? 映像祭 2012」を開催いたします。

2004年に行った映像コンペティションをきっかけに翌年からスタートしたこの映像祭も今年で8回目となります。(コンペは9回目) 小規模な映像祭ですが、公募によって今後を担う作家を発掘するとともに、多様なジャンルの映像作品を紹介することに努めてきました。今回は、前年に続いて80年代の自主制作アニメーションを特集するほか、日本のビデオアート史を検証する「キカイ デミルコト」、ASK? 映像祭第一回コンペティションの大賞受賞者である和田淳の作品集などを上映します。



art space kimura ASK?/ASK? (P)

〒104-0031 東京都中央区京橋3-6-5 木邑ビル 2F・B1F
TEL 03-5524-0771 FAX 03-5524-0772
URL <http://www.kb-net.com/ask> E-mail asku@oak.ocn.ne.jp
東京メトロ銀座線「京橋駅」1番出口より徒歩1分
都営浅草線「宝町」4番出口より徒歩2分

主催 art space kimura ASK?
企画 西村 智弘 / art space kimura ASK?
コンペティション審査 久里 洋二 / 西村 智弘 / 木邑 芳幸

Part2 : プログラム上映 + デジタルフォトフレーム展

2012. 7. 31 (火) - 8. 4 (土)

ASK? 映像祭2012プログラム上映 / **ASK? (2F)** 各プログラム入場料 500円

全プログラムパスポート 1500円 *チケットは画廊にて販売しております。

A 久里 洋二セレクション 上映時間は画廊にお問い合わせください

ASK? ではおなじみの久里 洋二によるセレクション・プログラム。【一部 16mm フィルム上映を予定】



「頭の中のくるみ」2007年 24分
実験アニメーションとして制作されたこの作品は、ペーターベンの交響曲(交響曲NO.8 in F.Op.93)にあわせて制作。上映 16mmフィルム
他 短編上映予定

【久里 洋二 プロフィール】

1960年、真鍋 博、柳原 良平とともに「アニメーション3人会」を結成し、戦後の自主制作アニメーションの草分けとなる。ヴェネチア映画祭サンマルコ獅子賞など、国内外の映画祭で多数の受賞歴をもつ。1964年からNTVの深夜番組「11PM」に18年間毎週短編アニメーションを発表した。現在は、若いアニメーターの育成に力を注ぐとともに、精力的に作品制作に取り組んでいる。紺綬褒章、紫綬褒章、旭日小綬章受賞。2012年ザグレブ国際アニメ映画祭では特別功労賞受賞。2003年よりart space kimura ASK?にて毎年個展を開催。

B 初期・アニメーション80 Part1 上映時間 1時間14分

1980年に結成された「アニメーション80(はちじゅう)」は、当時の自主制作アニメーションを代表するグループのひとつである。さまざまな技法を用いた自由な作風で知られていて、アニメーションを広く捉えた斬新な作品を制作した。Part1では、第一回発表会に参加したメンバーから、IKIF(木船徳光・石田園子)と浅野優子の作品を上映する。



「アニメーション百科」1980-1985年 6分53秒
「CIRCLE」1981年 4分
「FACE+」1982年 2分30秒
「走馬燈(一)」1982年 2分30秒
「回転AB」1983年 2分05秒
「SCRIBBLE BORD 砂鉄編」1986年 2分30秒
「カメラオブスクラ(2)」1983年 6分
「阿耳曼陀羅(二)」1986年 5分20秒
「スクリーン・トーン・ミュージック」1992年 5分
「アニメーション百科デジタル」2006年 2分05秒
「トルロミニカ / Troreminica」2011年 3分11秒

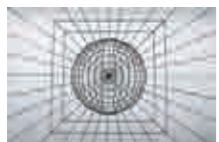


「螺旋迷宮」1982年 2分30秒
「鳥たちの棲むところ」1983年 2分
「木の中刺す魚の気」1985年 5分50秒
「紙の家」1986年 2分
「五つの指の庭」1988年 5分
「蟻の生活」1994年 14分

浅野優子「蟻の生活」

C 初期・アニメーション80 Part2 上映時間約1時間10分

Part2では、第一回発表会に参加したメンバーから、飯面雅子、昼間行雄、関口和博の作品を上映する。



「MANDARA」1978年 3分
「STEP」1980年 3分
「eight eight」1991年 3分
「プラネット」2000年 4分
他

関口和博「STEP」



「プリズム-2」1980年 3分
「MONDORIKID」1988年 10分
「COMPARTMENT」1995年 5分
「REN」2006年 3分
「葬送特急」2011年 6分

昼間行雄「葬送特急」



「浮遊卵」1980年 2分30秒
「姫如苑」1982年 2分30秒
「泡蟻」1983年 2分
「Blue Camisre」1985年 3分
「土曜日にサヨナラ」1987年 3分
「安珍清姫」(サウンド・パフォーマンス) 2012年 10分

飯面雅子「土曜日にサヨナラ」

D 作家トーク&上映:検証! 80年代アニメーション

1980年を前後して、いくつもの自主制作アニメーションのグループが誕生し、アニメーションの制作はブームといわれるまでになった。しかし、デジタル技術がまったく登場していない当時、作家たちはいかにして作品を制作し、活動が続けていたのか。このトークのコーナーでは、貴重な映像資料なども上映しつつ、最初期のアニメーション80に参加したメンバーに当時のアニメーションをめぐる状況について語ってもらう。

出演 小出正志、昼間行雄、IKIF、浅野優子、飯面雅子

司会 西村智弘(映像評論家)

※出演者は変更になることがあります

E 和田淳作品集 上映時間 1時間19分

2004年度の第一回コンペティション大賞受賞者の和田淳さんがこのたびベルリン国際映画祭で銀熊賞を受賞されました。これを記念して初期の作品を含め、全作品を上映いたします。ASK? 映像祭が若い作家の登竜門になることを願います。



「グレートラビット」

「夢見」2002年 3分30秒
「このマヨネーズはゆるすぎる」2002年 2分20秒
「笛」2002年 5分40秒
「kuro no hito」2003年 9分40秒
「蟻虫舞手」2004年 6分20秒
「子供の廻転の事」2004年 2分50秒
「係」2004年 6分15秒

「鼻の日」2005年 9分30秒
「やさしい笛、鳥、石」2005年 3分30秒
「声が出てきた人」2006年 4分30秒
「そうい眼鏡」2007年 5分40秒
「わからないプタ」2010年 10分10秒
「春のしくみ」2010年 4分20秒
「グレートラビット」2012年 7分12秒

【和田淳プロフィール】
1980年兵庫県生。大阪教育大学、イメージフォーラム付属映像研究所、東京藝術大学大学院で映像を学ぶ。各国内外の映画祭にて多数受賞。現在、大阪教育大学非常勤講師、日本アニメーション協会会員、合同会社CALP所属。

F キカイ デ ミルコト - 日本のビデオアートの先駆者たち - 上映時間 1時間15分

60年代半ばにポータブル・ビデオが市販され、この新しい映像メディアを使ったさまざまな作品が生まれた。コンピュータの普及していった当時、ビデオアートは最先端の映像表現であり、多様な可能性を秘めていた。国内外の作家や評論家による証言と作品の紹介によって、その黎明期をたどったのが本作だ。メディア芸術の起源であるビデオアートの貴重な記録。



2011年 HDV 75分
監督/瀧健太郎
カメラ/大江直哉
企画・制作/VCT/ビデオアートセンター東京
助成/独立行政法人日本万国博覧会記念機構(2011年) 国際コミュニケーション基金(2007)

主な出演者
安藤敏平、出光真子、かわなかのぶひろ、久保田成子、小林はくどう、中島興、中谷美二子、萩原朝美、マイケル・ゴールドパーク、松本俊夫、山口勝弘、山本圭吾

■8月2日(木)17:00からの回
対談:「ビデオアートの過去と未来」 瀧健太郎×西村智弘(映像評論家)

G 2012年コンペティション受賞作品 上映時間 1時間50分

審査員: 久里 洋二 (アニメーション作家) 西村 智弘 (映像評論家) 木邑 芳幸 (ASK? 代表)

大賞 「布団」水尻 自子 2012年 6分
布団の中に入り、頭に浮かぶ記憶、想像する此の先、思い起こす感触、染みついた性、何もかも一緒に気持ちよくとろけていく。布団の中で、身体が感覚を求めて彷徨う。



「布団」

久里洋二賞 「くつした」加藤 都夫 2012年 7分14秒
西村智弘賞 「ヨナルレ Moment to Moment」中田 彩郁/サキタニ ヌウキ 2011年 8分
ASK?賞 「食べる人たち」村本 咲 2012年 2分58秒



「くつした」



「ヨナルレ Momento to Momento」



「食べる人たち」

入選 「櫻本箒製作所」告畑 綾 2012年 9分 / 「まっすぐな道でさみしい」岡本 将徳 2012年 5分53秒 / 「水中融和」根本 真希代 2011年 9分
「ほこり犬のはなし」池 亜佐美 2011年 3分30秒 / 「パブリックと庭」林 紗綾香 2012年 4分 / 「awaiting」金 學敏 2012年 3分30秒
「The surface of the earth」高田 苑実 2012年 6分 / 「The Man Who Ate an Apple」朱 彦潼 2012年 3分57秒
「うのみ」本田 康明 2011年 3分53秒

【久里洋二セレクション】*今回は久里洋二氏のチョイスで、「久里洋二セレクション」及び各賞が新設されています。
「A Miniature Earth」栗原 啓 2012年 1分44秒(CG賞) / 「しあわせのちよきんぼこ」西山 博文 2012年 4分53秒(キッズ賞)
「SWEET GARDEN」信耕 ミミ 2012年 5分(新人賞) / 「まだだかるた」前田 結歌 2012年 10分 / 「black board story」武藤 達也 2012年 3分
「いと恋し」倉橋 一平 2011年 8分 / 「ぶらりん」沼田 友 2011年 5分

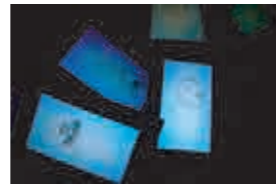
デジタルフォトフレーム展 / **ASK?®(B1F)** 入場無料 *展示及び販売 ¥20,000~

ここ数年で急速に普及したデジタルフォトフレームによる作品を展示及び販売をいたします。機器の特性をいかし、人気の作家の映像作品をご自宅のリビングや自室でお気軽に楽しめます。どうぞ期待!

■ 出品予定作家 赤坂有芽 久里洋二
佐竹真紀 しりあがり寿
三原 回 古川タク
etc.



赤坂有芽「さかな」



しりあがり寿「ボラとみず」展より

*作品詳細については、お問い合わせください。

ASK? (2F) ASK?® (B1F)

	11:30	13:00	15:00	17:00	19:00	
7月31日(火)	/	A	B	C	E	
8月1日(水)	/	F	G	B	C	デジタルフォトフレーム展
8月2日(木)	/	E	A	F 対談有り	/	7月31日(火)~8月3日(金) Open 13:00~19:00
8月3日(金)	/	G	B	C	D	8月4日(土) Open 11:30~17:00
8月4日(土)	E	F	A	G	/	

※上映作品は変更になることがあります。